



折り紙でクリスマスリース↑

ブラジリアの風



↑ キャンプで成長した次男湧希 (左)

揺り動かされない御国を

「このように揺り動かされない御国を受けるのですから、私たちは感謝しようではありませんか。感謝しつつ、敬虔と恐れをもって、神に喜ばれる礼拝をささげようではありませんか」ヘブル12:28

遅ればせながら、新年のご挨拶を申し上げます。第三期10年目に入ったブラジル宣教ですが、いつも皆さまの尊いお祈りとお捧げものによって支えられていることを心から感謝申し上げます。

新年を迎えて1ヶ月が過ぎますが、新型コロナウイルスのオミクロン株はブラジルでも猛威をふるい、ここブラジリアも1月25日時点でコロナ患者用のICU（集中治療室）が100%に達し不足しています。正月明けはブラジリア教会でも感染者が相次ぎ、安井主任牧師も入院寸前の危険な所を通られましたが、主に癒され回復されました。

昨年末の12月初旬には、教会の最も古株であった吉田信一兄弟（87歳）が突然の召天。年末年始はまさに教会が揺さぶられるような事態が続きました。しかし、冒頭のみことばのように、主を恐れて礼拝をささげることこそが、教会の揺るがない基盤であり、「揺り動かされない御国」を受けるために最も大切なことであることを確認させられています。

生前の吉田兄弟と家庭集会で祈っていたヴァルゼンボニータの祝福と開拓。その第一歩として12月18日にクリスマス会を開催（写真下）、21名が集う恵みの時となりました。一人ひとりが主イエスによって救われ御国の民とされるようにお祈りください。



【近況と祈りの課題】

・ヴァルゼンボニータ（開拓中の村）：先日信仰告白された前添さんが脳梗塞で入院、癒しと回復を。吉田兄弟を天に送ったご遺族に慰めと励ましを。毎月の訪問や集会が祝福されるように。

・日本語学校：2月から再開、オンラインで授業を継続、学校運営に知恵が与えられるように。生徒が信仰に導かれるように。

・ブラジル情勢：今年10月の大統領選挙で国が大きく変わろうとしています。コロナ禍や洪水、失業等で苦しんでいる人々のためにお祈りください。

・ブラジリア教会：1月にコロナ感染された安井牧師やクラウデミール牧師（開拓中）とその家族、また教会員の完全な癒しと回復を。各教会の祝福を。

・浜田ファミリー：長男の受験と進路の導き。再転校した次男三男四男の適応のため。私たち夫婦の健康と働き、経済の祝福をお祈りください。

2022年2月
浜田 献、陽子



「浜田宣教師指定」献金の感謝とご報告

(11-12月合計) 439,460 円

2021年総合計 **2,836,213 円** (予算達成率: 109%)

*補正後予算の260万円が満たされたことを支援者の皆様から心から感謝申し上げます、主の御名を崇めます。

*2022年は教育費、療育費、保険適用外の治療費、所得税の増額が見込まれ、予算が増えています。引き続きお祈りいただけますと感謝です。

2022年目標額: 350万円 (現地支援を含む)

*これまで、献金者名を掲載させていただいてきましたが、今後は個人情報の観点からも、献金額のみの掲載とさせていただきますことをご了承願います。